

平成 30 年 度

# 第 1 回総合教育会議会議録

( 期日 平成30年 9 月21日 )

岐阜県可児市教育委員会

平成30年9月21日午後3時00分開会

**出席者**

富田成輝君（市長）

丹羽千明君（教育委員）

生駒隆昌君（教育委員）

村瀬雅也君（事務局長）

三品芳則君（学校教育課長）

籠橋義朗君（教育長）

星野京子君（教育委員）

伊藤小百合君（教育委員）

細野雅央君（教育総務課長）

**教育委員会事務局職員**

石原雅行君（教育総務課総務係長）

圓藤 亨君（教育総務課総務係）

## 開会の宣告

市長（富田成輝君） 平成30年度第 1 回総合教育会議の開催を宣告。

## 議題

### あいさつ

市長（富田成輝君） 笑顔の学校というキャッチフレーズを教育委員会で作っていただき進めていただいている。一年、教育委員としていろんな活動をされる中で感じたこと、あるいは今後の提言等々、自由に御意見をいただきたい。

教育委員（丹羽千明君） 市長がつくられた可児市教育大綱に沿って、笑顔の学校というのが着実に進んでいることに大変感謝する。また、予算もいろいろつけていただき大変ありがたい。

ことし帝京小・中学校を含め17校の学校訪問をし、新任初任の教師の面談をおこなった。その中でほとんどの学校からの要望が、ICTの活用。研究し、プロジェクターが効果的だと感じた。視覚、聴覚と見る者、聞く者に直接働きかけることができ、教職員の負担軽減にもなる。プロジェクターの導入を検討していただきたい。

教育委員（星野京子君） 可児市の教育委員が一番大事にしているのは学校訪問。

学校訪問で感じたことは、可児市の教育大綱ができ、順番順番に学校が落ちついており、どこの学校に行ってもすばらしいと感じた。

スクールサポーターを配置していただいて本当に感謝するとともに必要不可欠。スクールカウンセラーも需要が多く通訳サポーターなどの人的支援をお願いしたい。

教育委員（生駒隆昌君） 笑顔の学校ということで、先生方も、子供たちも本当に伸び伸びと学校生活をおくっている。

ことしは暑い夏だったが、エアコンがあるということで、ありがとうございましたと言われた。いち早くエアコンをつけていただき、改めて感謝を申し上げる。

丹羽委員からもプロジェクターの話があったが、これからわかりやすい教育をしていくには必要になる。

一步一步達成して、笑顔の学校づくりをしていきたい。

教育委員（伊藤小百合君） 教育委員として務めて約 1 年たった。学校訪問では、全体に子供が落ちつき楽しそうな姿が見られ、とてもいい印象が残っている。

現在、低学年トイレの洋式化を順次進めていただいているが、家庭で普及しているということで、家庭と学校の違いが子どもたちのストレスにならないよう、高学年も順次進めていただきたい。

市長（富田成輝君） いずれも大事だと思う。問題はトータルでは予算を削らない

といけない。教育委員会の中だけでなく市全体として。税収の予測を立てながら教育委員会の中で何を優先するのか。市全体の中で何を優先するのか。全体的に厳しい中、教育委員会として何を優先するか。その基準は何か。学力なのか、知性を磨くのか、感性を磨くのか。

プロジェクターやモニターも効率的に必要な知識、感性を育てるために有効なツールならば最優先になるし、それよりもスクールサポーターを大量に導入したほうが、理想とする感性と、生きていくために必要な知性を備えさせるのか。そのためにはどちらが必要になるか。我々として、可児市が求める子供、教育大綱にあるような子供を育てるために何を優先するのか。

**教育委員（丹羽千明君）** 人の手配、普通教室へのエアコンの設置、あるいはトイレの洋式化も1年、2年生はほぼ終わった。順次配慮していただいている。今回、教育委員で話し合い、何を優先するかということで、プロジェクター、ICTの活用が教育にとって有効ではないかと考えている。学力を上げるだけではなく一緒に勉強することができる。大きなプロジェクターでみんな一緒に勉強するということができ、感性にもつながる。それで何ができるかという検証はまだしていないが、提案したい。

**市長（富田成輝君）** 教育委員会が予算要求の中で、教育委員会の総意の中で順位づけをして要求されるのか。

**教育委員（丹羽千明君）** 全員にタブレットとなると莫大な金額になりそれは不可能。電子黒板が各フロアに1台あり使っているが、使い勝手が悪くなっている。そういった意味でプロジェクターということになるかと思う。

**教育長（笹橋義朗君）** ICT教育はもちろん、他市を見ながら検証をしてやろうと思っているが、まだいい例は見つかっていない。ICT教育とか、プログラミング教育はまだまだ先になる。いいものがあればやりたい。

それよりも、小学校は全部、コミュニケーションワークショップということでa1aの協力を得ながら、人間関係づくりとか人とのつながりが大事だということを今一生懸命やろうとしている。

**市長（富田成輝君）** 知性も感性も両方大事。問題はどういうふうに感性を身につけさせるか。どういう知性を身につけさせるか。その順番はどういう順番なのか。

**教育長（笹橋義朗君）** 今、学校が一番気をつけているのは学級経営。学級の中がいい雰囲気であれば学力が上がると先生は思っている。

**教育委員（生駒隆昌君）** 学校の先生と子供たちの関係がよくなると、地域へ戻って労働したり、可児市を支えていく力になっていく。地域を愛するとか、ふるさと教育というのを感じ取り、それが可児市の中で支えている部分だと思う。

**市長（富田成輝君）** 感性教育は学校もちろん、地域の祭りに自治会が子供たちを盛んに使ったり、そういう仕組みも大事な感性の教育になる。これがうまくいっていると思う。総合力としては非常にうまくいっているんじゃないかなと思う。

**教育長（笹橋義朗君）** 本市は外国人の児童生徒が多くいるので、可児市と県の通訳がいるが、その比は10対1ぐらいになる。可児市が市費を入れてやっている。県も真剣に取り組んでもらうように市長のほうからもお願いしていただきたい。

**市長（富田成輝君）** 市内の企業が外国人を雇うように目をやっと向けた。そこら辺を上手くやらないと何のためにお金を使っているのかわからない。

**教育長（笹橋義朗君）** 国や県がもうちょっと真剣に考えていただきたい。

**市長（富田成輝君）** 国や県に言わないといけないし、日本で育てて働いてもらいたい。

そういう意味で可児は先走っているので、ほかのところの手本になれる可能性もある。

**教育委員（生駒隆昌君）** 国際学校はどうなるのか。そういうものも必要になってくるのか。

**市長（富田成輝君）** 多分、民間では考えているところもあると思う。

**教育委員（生駒隆昌君）** そういうところで、言語とかを教えるのももちろん、文化も教えて、さらにキャリアで働ける人材までつくっていかないといけない。

**市長（富田成輝君）** プロジェクターの話が最優先であったが、また順位づけと理由づけをして、予算要求の要望を出してほしい。

ほかにはよろしいか。

〔挙手する者なし〕

事務局から。

**学校教育課長（三品芳則君）** 「笑顔の学校」公表会について案内。

笑顔の学校の実現に向けた取り組みの成果を、今年度市内第1回目の公表会として、南帷子小学校、桜ヶ丘小学校、東可児中学校の3校にて、11月7日水曜日の午後を開催する。

主な公開内容は、授業公開だけではなくて、南帷子小学校では、イングリッシュタイムと称して、かにっこ英語プログラムの成果を公表。桜ヶ丘小学校では、桜スマイルタイムという仲間づくりのためのソーシャルスキルトレーニングの時間。東可児中学校は、後期の生徒会活動を充実させるための生徒集会を公開。

市長におかれましては、南帷子小学校で子供たちの活動を見ていただきたい。

**教育長（笹橋義朗君）** 笑顔の学校の一段落目が終わる。発表をするので、よろしくお願ひしたい。

**教育委員（生駒隆昌君）** 特別支援の子たちもふえているので、今後はそこもお願ひしたい。

**市長（富田成輝君）** それも違いの一つ。男と女でも違いの一つ。外国人、日本人も違いの一つ。特別支援の子も違いの一つ。

**教育委員（星野京子君）** 私は子供を育ててきて、思いやりの心が一番大事だと思う。市長さんがそう言うので、もう何も言うことはない。相手に対する思いやりがあれば、そこが一番魅力的な会社にもなるので、市長さんみずからそういうことを言うてくださっていれば安心。

**市長（富田成輝君）** 思いやりって、格好よく言うとコミュニケーション能力。

**教育総務課長（細野雅央君）** それでは、ありがとうございました。

きょうの会議の内容を精査して、また事務局のほうで予算要望なり施策に反映させていきたいと思ひますので、よろしくお願ひしたい。

#### **閉会の宣告**

**市長（富田成輝君）** 平成30年度第1回総合教育会議の閉会を宣告。

閉会 午後3時59分